

関係各位

プレスリリース

株式会社 ニュートリション・アクト
2008 年 4 月 14 日

皮膚組織を特殊培地で 15 日間延命に成功。

仏 BIO-EC ラボラトリー, 日本で EX-VIVO 肌評価サービス開始へ

実際のヒトの皮膚内部の変化を簡単に視覚化。化粧品、機能性食品の効果検証の新たなツールを提供

株式会社ニュートリション・アクト(東京都港区)は、昨年 10 月に皮膚評価分析研究所 BIO-EC ラボラトリー(フランス、パリ)と独占的業務提携契約を締結し、同社の提供するヒト皮膚組織を使った肌評価分析サービスを本年 4 月より日本で開始する。



Centre de Recherches Biologiques
et d'Experimentations Cutane s

人体から切除された皮膚組織の培養は、従来 3-4 日の延命が限界であったが、特殊培地の開発によって、BIO-EC ラボラトリーはそれを 15 日まで維持させることに成功。この生きた皮膚モデルを核に、1998 年の設立以来 10 年間にわたって抗加齢・保湿・美白・UV ダメージ・抗シミ/シワなど、化粧品の機能性評価を行ってきた。また、皮膚感作、皮膚刺激性などの安全性評価など、多岐にわたる試験法を確立し、さまざまな皮膚層レベルで 100 種類以上の検証が可能となっている。

現在は、化粧品、スキンケア、機能性食品分野を含み、世界的な大手化粧品メーカー他、ヨーロッパを中心に 110 社以上に分析サービスを提供している。

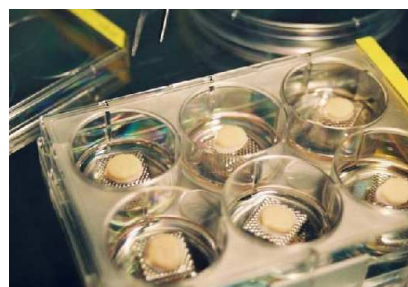
この評価法の最大のメリットは、化粧品のみでなく、美容効果を訴求する機能性食品の効果についても、実際の肌内部の変化として明確に検証出来ることである。

例えば、ある開発材料の本皮膚切片への塗布あるいは培地への添加(内用)により、真皮層に存在するコラーゲン量、ヒアルロン酸量の変化を、その断面画像の比較とともに明らかにする事が可能。他にも、繊維芽細胞、メラノサイト、日焼け細胞、DNA 損傷などの変化を画像で見ることが出来る。

より直接的なリアル皮膚の断面像として得られる本分析サービスは、説得力のある組織学的評価法で、今日本で検討が進んでいる化粧品機能評価法ガイドライン(形態学的評価)を保管するものとして期待できる。

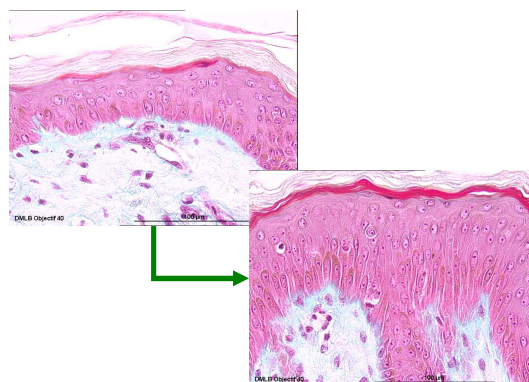
画像 1. ヒト皮膚 三次元培養モデル

特殊な培地を開発したことで、一定期間の生存・培養を可能となった。ヒトの皮膚を使うことで、肌の中で起こる現象を直接観察できる唯一の試験である。



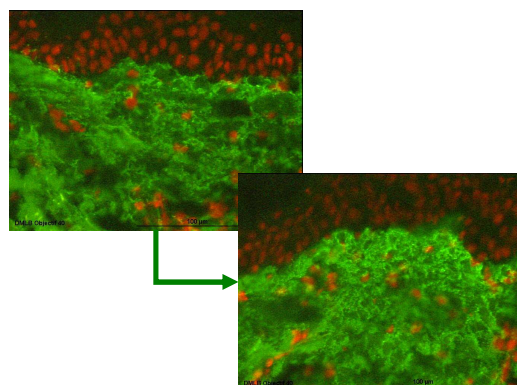
画像2. 表皮層の厚さ(上皮細胞)

表皮層は皮膚のバリア機能の中心的役割をもっている。断面図から、表皮層(ピンク色)が厚くなったことが確認出来る。



画像3. コラーゲン量

コラーゲンは真皮層で肌弾力の中心的役割を持っている。断面図から、I 型コラーゲン(蛍光緑)が濃くなったことがわかる。この変化は画像解析で数値化が可能である。



お問い合わせ先
株式会社ニュートリション・アクト
担当: 鈴木

〒108-0074 東京都港区高輪 1-5-4 常和高輪ビル1F

TEL:03-5475-7313 FAX:03-5475-7314

HP URL: <http://www.n-act.co.jp/>

E-Mail: h-suzuki@n-act.co.jp